

2023_1124「秋の月（その2／写真）」日々の理科 3396号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

季節感のある天体写真を撮るとするのは難しいことです。前回の写真はできるだけ月にも手前の風景にもピントを合わせようとしたのですが、この写真はあえて月だけにピントを合わせて、樹木の葉はぼかしてみました。それでも「晩秋」という雰囲気はよく出ているし「月が主題の写真」ということもわかります。月相（月の見かけの形）とその角度（明暗境界線の傾き方）から、夕方であることもわかります。この冬には「雪景色と月」「雪景色と恒星」という組み合わせの写真も撮ってみたいと思っています。

（2023年11月中旬／文京区小石川植物園）

